

西陵中学校ブロックの小中一貫教育

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力											
自分と他者の考えを重ね比較しながら、幅広く深く考えることができる力 言語活動を通して他者の思いや考えを聞く、自分の思いや考えを伝えることにより、思考・判断を伴ったコミュニケーションがとれる力 礼儀や規律を重んじ、他者を尊重して行動できる力											
学年または学年区分ごとにめざす姿											
学習規律を整え、友だちと共に学び合う態度が身についている。 お互いの良さを認め、協力して学習や活動に取り組むことができる。	自分と異なる考えを理解し、話し合って考えを深めることができる。 自ら課題を見つけたり選んだりしながら、解決しようとする。	自他の個性を尊重し、様々な意見や情報の適切な選択・判断により、自己決定ができる。	他者の長所や感情を理解してコミュニケーションをとることができる。 社会規範やマナーなどの必要性を理解して行動することができる。	小1	小2	小3	小4	小5	小6		
取組・活動											
研究会テストの活用を徹底し、授業改善を図る。	プレジョイントプログラムの活用を徹底し、授業改善を図る。	ジョイントプログラムの活用を徹底し、授業改善を図る。	小中連続した学力分析と授業改善	学力分析と授業改善	「交通安全教室」の実施	「自転車運転安全教室」の実施 「ケータイ教室」の実施	「非行防止教室」の実施 「薬物乱用防止教室」の実施	各種行事の実施			
<竹の里小学校の取組>											
<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の授業展開となるような授業改善 授業力向上のための授業公開の実施（年間3回以上） 授業力向上のための若年研修会の実施 子どもたちの学びの足跡が残るような板書の工夫 模擬授業による子どもの反応についての検討 教師の発問の質の向上のための検討 主体的に学習に取組むことができるための「話し合い活動」の充実 「話し合い活動」でつける力を学年ごとに明確にし、6年間を通じた指導を積み上げる。 ノート作りのためのノートマニュアルの設定と指導の徹底 帯タイムの活用（ステップタイム・計算タイムでの基礎基本の定着及び活用問題への挑戦） (各学年でのつけたい力の明確化・話し合う視点の明確化・子どもたち主体の学び合いを目指す) 読書活動の充実（100冊または3000ページ読書） 											
<西陵中学校の取組>											
<ul style="list-style-type: none"> 「学習の手引き」の作成と指導 授業規律の徹底 毎日の朝読書の実施と図書館教育の推進 PDCAシートを活用した授業改善 家庭学習定着の指導 全教科で共通した授業ルールの設定と指導の徹底 総合的な学習の時間等を活用して、プレゼンテーションに取り組む。 											
<福西小学校の取組>											
<ul style="list-style-type: none"> 子ども発信の「学習問題」「めあて」を設定し、それに応じた「まとめ」「振り返り」を行う問題解決学習の推進 授業の始めと終わりを明確に意識できるような挨拶の徹底 知的好奇心や探究心を刺激し、体験と実感を伴った理解を深める理科学習 算数的活動を充実させ基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる算数科学習 帯時間の学習（「読書タイム」「ハーモニータイム」「チャレンジタイム」）の充実 自分自身で家庭学習を進めることができるような自主学習ノート（一人一冊）の実践 「道徳教育推進月間」（6月、10月）における道徳の授業公開 豊かな人権感覚を身に付けた子どもを育てるための「ともだちの日」（毎月10日）の取組 											
<中学校ブロックとしての取組>											
授業研究の推進。9年間の系統的・横断的な教育課程の編成・実施 学習のルールの設定、家庭への周知・家庭との協力・信頼関係の構築 家庭学習の定着に向けた各種取組の推進				授業研究の推進 中学校実技教科教員の授業補助 家庭学習の取組の実践交流を行い、学年に応じた学習の在り方を策定して指導する。			授業研究の推進 中学生と小学生の交流を通して、子ども一人ひとりに自分の成長を実感させるとともに、めざす姿を想像させる。				

学びの約束・ルール

項目	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業の受け方	正しい姿勢を保つ。	姿勢を正して集中力を持続させる。					授業準備の徹底 私語の禁止	ペル着習慣の定着	課題意識をもって授業に臨む。 授業目標の認識と振り返り
話す・聞く・伝える	話をする人の目をみて聞く。 みんなに聞こえる声で発表する。	自分の考えと比べながら聞く。 みんなの顔をみて発表する。					様々な意見を受け入れる。 相手を意識して判るように話す。	自分と他者の意見から深く考え、まとめて伝える。	
ノートづくり 家庭学習	正しくていねいな字を書く。 毎日の家庭学習の習慣化	色をつけたり囲ったりしてノートづくりを工夫する。 一定時間の家庭学習の習慣化					ノートに自分の考えを記入する。 基礎基本の反復学習を習慣化	考えたことをメモできる。 基礎基本の反復学習・定着 家庭学習は、復習中心から予習中心へ	